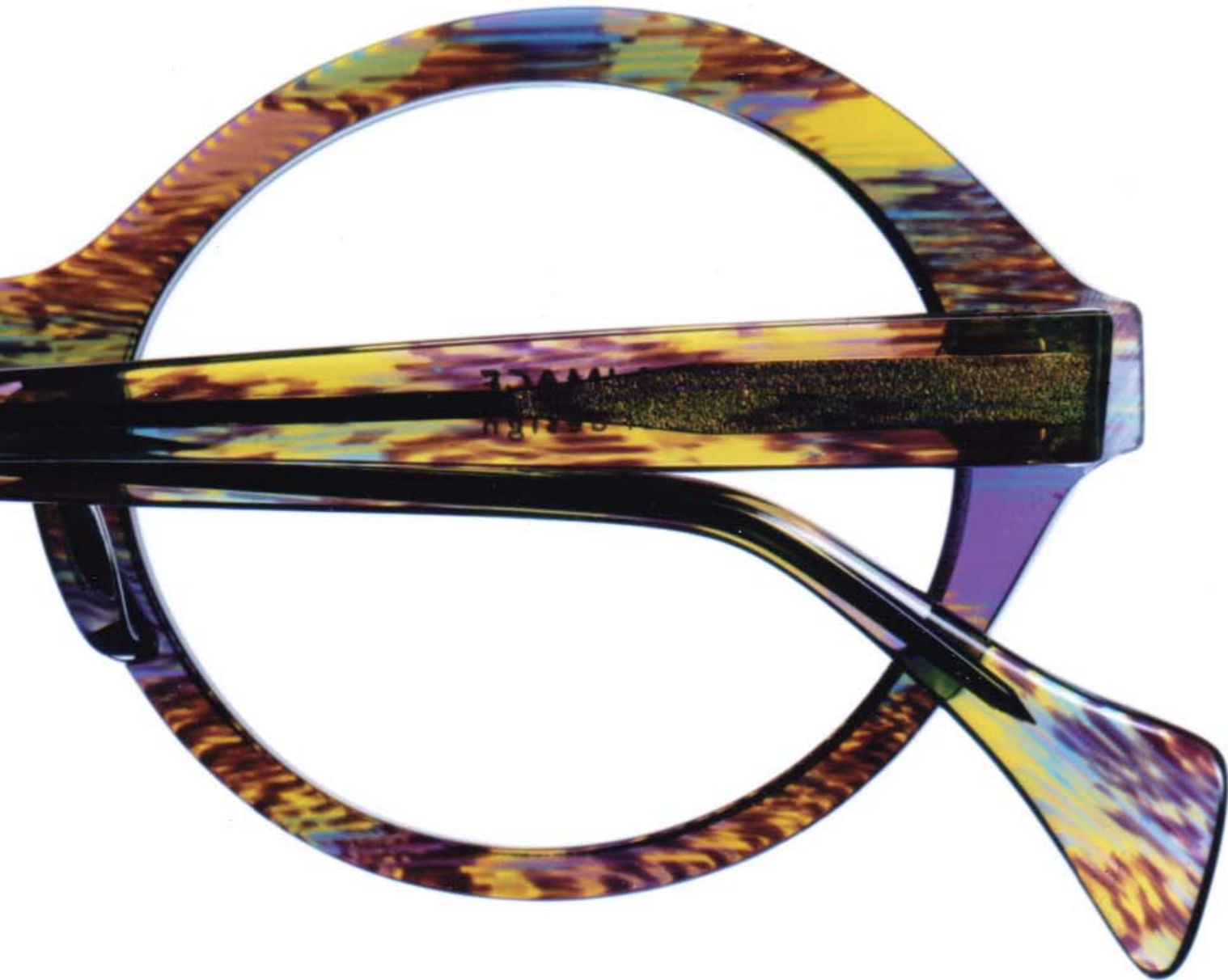




PADMA IMAGE

ラインに強弱をつけて描かれたラウンドフレーム。クジャクイロと名付けられた七色の深みある柄模様、思わず惹き込まれてしまう。「ROTARY」価格2万7000円。◎パドマイメージ



フォトグラファー

戸田嘉昭が切り取る 日本眼鏡八選

この春の新作から、編集部の一押しをピックアップ。
全方向的に抜かりのない、世界随一のクオイティを誇る
メイド・イン・ジャパンのアイウェア。
さまざまな角度から切り取ることで、仕上げの美しさや
パーツの精巧さなど、改めてその魅力に気がつかされる。

Photo/戸田嘉昭(パイルドライバー)Toda Yoshiaki Text/伊藤美玲 Ito Mirei



JAPONISM sence

この春デビューした新ライン。段落ち加工を施しブラック&ゴールドに繊細に塗り分けられたチタン製のフロントに、日本の美意識を感じる。「JS-102」価格2万8000円。◎グロス銀座

TonySame

トニーセイム

写真上から「TS-10711-Carp」、「TS-10709-Carp」
価格ともに2万520円

“ニシキゴイ”の豊かな色彩美が、そのままアセテートのフレームに融合。クラシックな玉型と、同じくクラシックな日本の美意識が、これほどまで違和感なくマッチするとは! @トニーセイムジャパン



ANNE ET VALENTIN

アン・ヴァレタン

写真上から「TANGRAM Col.A111」、「TIMES Col.A112」
価格各4万7520円

クラシックなアイウェアをポップアート風のグラフィックに変換したような、カクカクしたデザイン。それをパステルカラーのメタル・レイヤリングで表現するあたりが見事。@グローブスベックス エージェント

Photo/高瀬 博 TakaseHiroshi

Styling/大井慎弥 Ooi Shinya

Text/実川実 Jitsukawa Minoru

For The Stroller

4つのモードが街へ連れ出す

新しいアイウェアを買うと用事の有無に関係なく、外へ出たくなる。それはジャケットや靴を新調した時と同じ気分で、アイウェアをファッションの重要なパートだと、無意識に捉えているからなのだ。掛けるだけで不思議と外へ足が向いていく、4つの最旬キーワード。その魅力を太陽に照らされた街や自然で満喫したい。



ITALIA INDEPENDENT

イタリア インディペンデント

「I-V Col.018(ネオンピンク)」価格2万9160円

元気の出る蛍光のカラーリングはもとより、ベルベットタッチ加工をした立体的な“モフモフ”感もアピールしたくなる1本。グラデーションレンズとの相性もバッチリだ。@イタリア インディペンデント ジャパン

C O L O R

数年前まで世間の暗い空気と同調して、アイウェア界も大人しく、無難な色が占めていたが、ここ最近では眩いばかりのカラーが目立ってきた。これは、間違いなく人々がポジティブになってきたことの証なのだ。

HEAVY CLUNK

ヘビー クランク

「トレンドへの一撃」をコンセプトに我が道を進むヘビークランク。今季はブラックアセテートにマット加工を施したタイプとノーマルタイプ、テンプルにアニマル柄を配した新モデルが登場。アニマル柄はスネーク、ヒョウ、黒クロコ、赤クロコが揃っているが、その最大の魅力である肉厚フォルムは継承されている。右/[HC-01 Col.11] 価格2万5920円、左/[HC-04 赤クロコ]価格3万1320円 (受注販売) ©オリेंट眼鏡



TURNING

ターニング

ターニング初となる6mmセルロイド「山蛭」がリリース。強度を保ちながら、厚みの緩急やチタン製の丁番&四角鉋など現代の技術と融合させた作りで製造工場ならではの心意気を感じる。同じく新作の「T-170」は、プラスチックにチタン素材のヨロイを設けることでフィット性を向上させた。上/[山蛭 Col.茶桜笹] 価格3万2400円、下/[T-170 Col.05] 価格3万240円 ©谷口眼鏡

JUST 新作カタログ

各種メタル、アセテートの素材開発や加工技術に様々なアップデートが見られた今シーズン。デザインとしては従来のクラシックスタイルの先を行く「ネオ・クラシック」的な提案と、鮮やかなカラーリングを推すブランドが増えたのが印象的だ。国内外全58ブランド、2014年S/S最新モデルを一挙に紹介する。

WEAR IT!

Photo / 熊谷義久 Kumagai Yoshihisa, 青木健格 Aoki Takanori (WPP) Text / 小堀真子 Kobori Mako



USH by yuichi toyama

アッシュ

アメリカ映画のワンシーンによく登場する学生の卒業イベント「プロムパーティ」をテーマに据えた新コレクション。従来のモデルをベースに、濃としたモノトーンにゴールドといった華やかな色を添えることで、期待や不安を抱きながら背伸びをした青年がタキシードに身を包むイメージを表現している。上/[UFO-033 Col.4] 価格3万4560円、下/[UFO-030 Col.5] 価格3万240円 ©アトリエサンク



Feather metal

フェザーメタル

軽やかなデザインと羽根のようにソフトな掛け心地を両立し、大人の女性が普段使いできる眼鏡として好評を博すフェザーメタル。テンプルにはNT合金を採用した。掛け外しのスムーズさとフィット感を出すため、直径0.7mmのしなやかな3本の丸線に、飾りパーツをつけて程よいバネ性を与えている。上/[53-0003 Col.3]、下/[53-0006 Col.1] 価格各2万520円 ©村井



Kazuo Kawasaki

カズオ カワサキ

医学博士でもある川崎和男氏の監修のもと開発された新設計サングラス。テンプル上部にあるスイッチを押すと、フレーム内に搭載されている偏光レンズの濃度が2段階で変わる。電源は空気電池で約80時間連続使用可能。ドライブでの天候の急変、スポーツ時など今後さまざまなシーンで活躍が期待できるアイデアだ。[SHUNKANサングラス] 価格1万9440円 ©MASUNAGA1905



SOSPIRI

ソスピリ

アイウェアをジュエリー感覚で料理するハイエンドブランド。今季はビッドかつクリアな表情の夏らしいアセテート素材に、ポイントでクリスタルを散りばめたエレガントで落ち着きのあるデザイン。光に反射してきらめくクリスタルが、女性の目元や横顔をラグジュアリーに彩る。上/[URSULA Col.253]、右/[URSULA Col.260] 価格各12万9600円 ©イトオプティク



deekay.s

ディーケイ・エス

国内で馴染みのある上質なレザーをハンドメイドで眼鏡ケースに仕立てる貴重なブランド。今春の目玉は、商品パッケージにも使われている高級工芸紙メーカーとのコラボで生まれた、“うるし紙”素材の2段トレーケース。眼鏡とともにある日常の風景をアップデートできる、何とも趣のある逸品だ。上/[MCL1-1 Col.camel] 価格9072円、下/[GTC1 Col.flower red] 価格4212円 ©DT&COMPANY

